

11月は「天龍なかよし月間」でした

天龍小学校では、11月の1ヶ月間を、「天龍なかよし月間」としています。この期間中、全校児童に「みんなの学校生活アンケート」をとり、困っていること心配なことがないかどうかを聞いたり、朝の時間に集会やレクを行ったりして、ひとりひとりが笑顔で学校生活を送るにはどうしたらよいかを考える機会をたくさん作っています。その一環として、11月の参観日では、各学級で人権教育に関する授業を見ていただきました。今回は、期間中に行われた「はなさき山活動」についてお知らせします。ひとりひとりが、日頃なかなか伝えることができない友達の「いいね」や「ありがとう」を花の形をしたカードに書いて掲示しました。月間の後半になると、はなさき山にたくさんの「いいね」「ありがとう」の花が咲きました。

ゆきのさんへ

きょういっしょにはしゃいでくれてありがとう。あしたもいっしょにはしゃいでね。 さほより

ななみさんへ

当番を忘れそうになっていたとき「どっちやる？」って聞いてくれてありがとう。 かほより

ゆうさんへ

いつもなんでもかんでいっしょにあそんでくれたりしてありがとう ゆうなより

くらのすけくんへ

朝「サッカーしよー」とさそってくれてありがとう。 心夏より

ゆいさんへ

なわとびがじょうずですごいね。 すずねより

こころさんへ

バレーの時しゃべいたら「だいじょうぶ」と言ってくれてありがとう。 いっきより

さほさんへ

いつもかえりのときいっしょにあるいてくれてありがとう。 ひびきより

あいさんへ

歩万君の黒板を消すのを手伝っていていいと思いました。 煌晟より

こうせいくんへ

いつもいっしょにサッカーをしてあそんでくれてありがとう。

あゆまより

わひとくんへ

いつも2年生をわらわせてくれてありがとう。 そうごより

かほさんへ

私が休み時間にかいた絵を「じょうずだね」と言ってくれてありがとう。 ひなのより

すずねさんへ

はなさき山の花をいっぱい書いていてすごいね。 わひとより

「みんなでかんがえよう」

12月2日朝の時間に、全校で「みんなでかんがえよう」を行いました。今回の「みんなでかんがえよう」のテーマは『ひとりが好き？みんなというのが好き？』です。

まず全員がどちらが好きかを選び、どんないいところがあるかをひとりひとりで考えます。

○みんなが考えた意見

『ひとりしていると、いいところ』

- ・自分の好きな行動ができる
- ・落ち着ける
- ・静かに本を読める
- ・自由が多い
- ・集中できる
- ・気がつかなくていい

『みんなでいると、いいところ』

- ・楽しい
- ・悲しいことがあったら助けることができる
- ・知らないことを教えてもらえる
- ・いろんな遊びができる
- ・一緒に勉強できる
- ・たくさん話ができる

その後、自分で考えたことをお互いに意見交換しました。

はじめは自分と同じ考えを持っている人との意見交換、後半は、自分と違った意見を持っている人との意見交換です。1年生から6年生までが全員1対1で自分の意見を言いたいという機会はなかなかないので、最初は誰と話そうか迷っていた子もいましたが、最後の方は自分から話しに行き、時間が過ぎても友達の意見を聞いてメモをとる姿がありました。

最後に、お互いの意見交換から「ひとりが好き」「みんなでいるのが好き」についての新しい発見や、友達の意見について考えたことをまとめました。全員がよく考えることができましたが、そのうち各学年ひとりずつ紹介したいと思います。



○ひとりでいると好きなことができるとおしえてもらいました。

ひとりで静かにゆったりできるとおしえてもらいました。

(1年 宮澤ゆうなさん)

○じぶんとかういけんの人から、みんなというのとたのしい、かなしいことをうれしいことにかえられる、っておしえてもらった。みんなというサッカ―やべんきょうができるってことだから、みんなでいるといろいろできるってことを知った。(2年 伊藤そうごさん)

○ひとりでいると、好きなことができたり静かでおちつけるから、ぼくもちょっとひとりがすきになったと思いました。(3年 坂田あゆまさん)

○ひびきさんの意見で、「ぽかぽかする。助けあえる。」とか、いつもの生活が楽しいと言っているように感じたのでいいと思いました。(4年 成瀬心夏さん)

○さほさんが言っていた「知らないことも教えてくれるからやさしいから好き」という意見は、ぼくとかういけんのところ、さほさんが思う「みんなでいるといいこと」に「そんなことを思っているんだ～」と思いました。じぶんとかういけんの人と話して、思っていなかったことがわかってうれしかったです。(6年 遠山蔵之助さん)

感じ方や考え方は人それぞれ違いますが、相手の意見をよく聴き、その違いを認めたり自分の考えを広げたりできる子どもたちばかりで、とてもすがすがしい気持ちになりました。

